

三重県入札等監視委員会 審議概要(令和6年度 第4回)

開催日及び場所	令和7年3月13日(木)14:00～16:00 JA三重健保会館 3階 大研修室	
出席委員	委員 長 酒 井 俊 典 副委員 長 岡 島 賢 治 委 員 山 田 梨 津 子 委 員 山 崎 美 幸 委 員 加 藤 拓 也 委員5名中5名出席	
審議対象期間	令和6年10月1日から令和6年12月31日	
抽出案件	総件数 4件	(備考)
一般競争入札	3件	
指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

三重県入札等監視委員会 令和6年度 第4回定例会（令和7年3月13日）	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 ①答志漁港 県営水産生産基盤整備事業 浮体式係船岸製作・据付工事[伊勢農林水産事務所]	
・今回の工事の落札率が高い理由の一つとして資材価格の高騰があるが、資材価格の高騰は他の工事でも同様ではないのか。 ・鳥羽市の離島での工事は、今回の工事も含め特定の1者が受注することが多いが、その理由は何か。	・今回の工事には浮桟橋の製作が含まれ、一般的な工事よりも工事費に占める鋼材の割合が非常に高いことから、受注者が資材価格の高騰をより懸念し、落札率が高くなったと思われる。 ・当該業者は作業船を所有しており、離島の狭隘な港内において実績が多くあるため、他者よりも受注意欲が高いと思われる。
工事名 ②令和6年度 第33号 路側式道路標識工事(修繕等)[警察本部]	
・今回の工事は21者が最低制限価格で入札し、くじ引きとなっている。最低制限価格は予想しやすいものなのか。 ・今回の工事は23者が入札したが、入札の地域要件を三重県内から各警察署の管内等に狭めることは考えないのか。	・最低制限価格は予定価格から算出するものであるが、本工事の予定価格は事前公表であり、最低制限価格の算出式は三重県のホームページで公開しているため、入札者が最低制限価格を算出することは容易である。 ・交通安全施設のとび・土工・コンクリート工事を行える業者は、三重県内の地域によって業者数に偏りがあるため、地域要件を三重県内と幅広くに設定している。
工事名 ③東海自然歩道 自然に親しむ施設整備事業第1号工事(長坂)[四日市農林事務所]	
・3者が入札し、うち2者が最低制限価格から1万円低い入札額で失格となり、予定価格に近い金額で入札した業者で落札決定となった。より受注意欲が高いと思われる業者が落札できるような方策は何か考えられないのか。 ・類似工事の入札状況における参加資格の格付けについて、今回の工事と同程度の契約金額の工事が「Cランク」で、より低額な工事が「A・B・Cランク」となっている。どのような基準で格付けを設定しているのか。	・仕様書等の整備や、積算基準等で不明な部分を提示する等、参加業者が正確に積算できるよう、今後も務めていく。 ・類似工事の入札状況にある工事は、当初は全て参加資格の格付けをCランクとして公告していた。その中で不調となった工事について、再公告時に「A・B・Cランク」とし、参加可能となる業者を増やした。
工事名 ④内径500耗配水管推進工事(二期後期・川尻町)[北勢水道事務所]	
・企業の敷地内で工事をする場合は、今回の工事と同様に随意契約となるのか。	・すべてが随意契約となる訳ではなく、現状は半分程度が随意契約である。一般競争入札となった工事においては、安全上の理由等で、入札参加者がその企業の協力業者のみとなる場合がある。
その他	
・次回、令和7年度第1回入札等監視委員会の開催日は、令和7年5月22日とする。	